

First Hit

L34: Entry 2 of 3

File: JPAB

Oct 26, 1993

PUB-NO: JP405279242A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05279242 A  
TITLE: BATHING SOLUTION

PUBN-DATE: October 26, 1993

## INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
INOUE, TOSHIO	
NUNOKAWA, SENZOU	

## ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
OTSUKA PHARMACEUT FACTORY INC	

APPL-NO: JP05004753

APPL-DATE: January 14, 1993

INT-CL (IPC): A61K 7/50; A61K 35/78

## ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain a bathing solution having improving effects on dermatopathy such as especially atopic dermatitis or senile xeroderma.

CONSTITUTION: The objective bathing solution comprises four ingredients of glycyrrhetic acid and/or its derivative,  $\gamma$ -oryzanol, rice bran extract and rice bran oil at 1:(3-20):(0.05-10):(2-20) relative weight ratio of the glycyrrhetic acid and/or its derivative,  $\gamma$ -oryzanol, rice bran extract and rice bran oil and a heat reserving and blood circulation promotor ingredient as active ingredients. The heat reserving and blood circulation promotor ingredient is especially a herb medicine extract essence in an amount of 10-50 times based on the glycyrrhetic acid and/or its derivative and the concentration of the whole active ingredients is 2-10wt./wt.%.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&amp;Japio

First Hit

## End of Result Set

L34: Entry 3 of 3

File: DWPI

Oct 26, 1993

DERWENT-ACC-NO: 1993-374522

DERWENT-WEEK: 199347

COPYRIGHT 2004 DERWENT INFORMATION LTD

**TITLE:** Bathing liquids for improving skin disorders - contain glycerretinic acid (derivs.) gamma oryzanol, rice bran extract, rice bran oil , blood circulation improvers, etc.

**PATENT-ASSIGNEE:**

ASSIGNEE	CODE
OTSUKA SEIYAKU KOGYO KK	SAKA

**PRIORITY-DATA:** 1992JP-0019967 (February 5, 1992)

<input type="button" value="Search Selected"/>	<input type="button" value="Search ALL"/>	<input type="button" value="Clear"/>
--	---	--------------------------------------

**PATENT-FAMILY:**

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
<input type="checkbox"/> <u>JP 05279242 A</u>	October 26, 1993		005	A61K007/50

**APPLICATION-DATA:**

PUB-NO	APPL-DATE	APPL-NO	DESCRIPTOR
JP 05279242A	January 14, 1993	1993JP-0004753	

INT-CL (IPC): A61K 7/50; A61K 35/78

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 05279242A

**BASIC-ABSTRACT:**

Bath liqs. contain 1 wt. part glycerretinic acid and/or its derivs., 3-20 wt.pts. gamma-oryzanol, 0.05-10 wt.pts. rice bran extract, and 2-20 wt.pts. rice brain oil together with body-warming and blood circulation improving agents as effective components. The body-warming and blood circulation improving agents are crude drug exts. which are included in 10-50 wt.pts. to glycerretinic acid and/or its derivs. The total wt. of the effective components amounts to 2-10 w/w% of the bath liqs. concn.

The crude drug extracts are obtd. from matricaria chamomillae flos, cnidii rhizoma, angelica radix, cinnamoni cortex etc.

**USE/ADVANTAGE** - Effective for improving skin disorders such as prickly heat, chilblains, chaps, cracks, and rough skin. The effectiveness is esp. remarkable against atopic dermatitis and senile xeroderma (dry skin).

In an example, Component A was prep'd. by mixing 1.0 kg gamma-oryzanol, 0.3 kg rice bran oil, 4.0 kg isopropyl myristate, and 10.0 kg emulsifier (pyroglutamic acid

isostearic acid polyoxyethylene (25) glyceryl). Component B was prep'd. by mixing 0.1 kg dipotassium glycyrrhettinate, 30 kg rice bran extract liq. (contg. 2 wt.% extract), 3 kg chamomile flower extract, 30.6 kg 1,3-butylene glycol, and 21 kg pure water. Component A was heated at 70-80 deg.C to complete soln. and cooled to 40 deg.C. To this was slowly added Component B and the mixt. stirred to give a transparent bath liq.

CHOSEN-DRAWING: Dwg. 0/0

TITLE-TERMS: BATHE LIQUID IMPROVE SKIN DISORDER CONTAIN ACID DERIVATIVE GAMMA ORYZANOL RICE BRAN EXTRACT RICE BRAN OIL BLOOD CIRCULATE IMPROVE

DERWENT-CLASS: B05 D21 E19

CPI-CODES: B01-D01; B04-A07F2; B04-B01C1; B06-A03; B12-A07; D08-B09A; E01; E09-B;

CHEMICAL-CODES:

Chemical Indexing M1 \*04\*

Fragmentation Code

M423 M431 M782 M903 P943 Q254 V400 V406 V780

Chemical Indexing M2 \*01\*

Fragmentation Code

G031 G032 G033 G038 G039 G060 G820 H4 H401 H461  
H8 J0 J011 J1 J151 J5 J561 M210 M211 M240  
M283 M320 M415 M431 M510 M520 M530 M541 M782 M903  
M904 M910 P943 Q254 V0 V796

Ring Index

06384

Specfici Compounds

01279M

Chemical Indexing M3 \*02\*

Fragmentation Code

G031 G032 G033 G038 G039 G060 G820 H4 H401 H461  
H8 J0 J011 J1 J151 J5 J561 M210 M211 M240  
M283 M320 M415 M431 M510 M520 M530 M541 M782 M903  
M904 M910 P943 Q254

Ring Index

06384

Specfici Compounds

01279M

Chemical Indexing M5 \*03\*

Fragmentation Code

M431 M782 M903 M904 P943 Q254 S000 S023 S131 S132  
S133 S134 S143 S500 S600 S800 S830 T804 T814 U004  
U014 U030 U109 U110 U133 U141 U150 U560 U564 U581

Ring Index

05399

Specfici Compounds

04575M

UNLINKED-DERWENT-REGISTRY-NUMBERS: 1279U

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1993-166186

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-279242

(43)公開日 平成5年(1993)10月26日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

A 61 K 7/50  
35/78

識別記号

9051-4C  
U 7180-4C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平5-4753

(22)出願日 平成5年(1993)1月14日

(31)優先権主張番号 特願平4-19967

(32)優先日 平4(1992)2月5日

(33)優先権主張国 日本 (JP)

(71)出願人 000149435

株式会社大塚製薬工場  
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

(72)発明者 井上 寿夫

徳島県徳島市中吉野町3-46-2

(72)発明者 布川 専造

徳島県板野郡松茂町中喜来字中瀬中ノ越11  
-36

(74)代理人 弁理士 三枝 英二 (外4名)

(54)【発明の名称】 浴用液剤

(57)【要約】

【構成】本発明は、グリチルレチン酸及び／又はその誘導体：γ-オリザノール：米糠エキス：米糠油=1：3～20：0.05～10：2～20(相対重量比)の4成分と保湿・血行促進剤成分とを有効成分とする浴用液剤、殊に保湿・血行促進剤成分がグリチルレチン酸及び／又はその誘導体に対して10～50重量倍の生薬抽出エキスで、全有効成分濃度が2～10w/w%である上記浴用液剤を提供する。

【効果】本発明浴用液剤は、殊にアトピー性皮膚炎や老人性乾皮症等の皮膚疾患に対して改善効果がある。

1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】下記相対重量比の4成分と共に、保温・血行促進剤成分を有効成分として含有することを特徴とする浴用液剤。

グリチルレチン酸及び／又はその誘導体	1
ヤーオリザノール	3～20
米糠エキス	0.05～10
米糠油	2～20

【請求項2】保温・血行促進剤成分が生薬抽出エキスであり、グリチルレチン酸及び／又はその誘導体に対して10～50重量倍配合され、これを含む全有効成分濃度が2～10w/w%である請求項1に記載の浴用液剤。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は浴用液剤、特にアトピー性皮膚炎や老人性乾皮症等の皮膚疾患に対して改善効果のある浴用液剤に関する。

## 【0002】

【従来技術とその課題】アトピー性皮膚炎や老人性乾皮症等の皮膚疾患は、衣食住のスタイルの欧米化や高齢化社会の進展に伴って、近年益々重要な問題となりつつある。之等の疾患は、特にその症状が皮膚の広範囲に亘るため、従来の外用剤の使用ではその治療に手間がかかり過ぎるし、外用剤が衣服に付着してこれを汚染する問題もある。之等の問題を解消する新しい皮膚疾患の改善、治療法として、最近入浴療法が注目され、該入浴療法を目的とする浴用剤も種々研究開発されつつある。

【0003】上記浴用剤の具体例としては、ニンニクエキス配合品〔基礎と臨床、23(15),6031-6036(1989)等〕、米糠成分配合品〔診療と新薬、27(10),1950-1957(1990)、特開昭62-106008号公報等〕、シヤボン抽出物配合品〔特開平2-56415号公報等〕等が提案されている。

【0004】しかしながら、上記提案された各種の浴用剤は、いずれも(1)疾患の治療、改善効果に限度があり、尚不十分である、(2)異臭を放ち、その適用に難点がある、(3)湯の中に入れた時に均一に分散し難い、(4)安定性が乏しい、(5)配合成分が浴槽にこびりつき、その洗浄に手間がかかる等のいずれか少なくとも一つの欠点を有している。

【0005】本発明の目的は、上記従来の浴用剤に見られる欠点をすべて解消し、特にアトピー性皮膚炎や老人性乾皮症等の皮膚疾患に対して改善効果の優れた新しい浴用液剤を提供することにある。

【0006】本発明者らは、上記目的より鋭意研究を重ねた結果、下記特定成分の所定量を配合してなる浴用液剤が、上記目的に合致する優れた特徴を奏することを見出し、ここに本発明を完成するに至った。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】即ち、本発明は下記相対

2

重量比の4成分と共に、保温・血行促進剤成分を有効成分として含有することを特徴とする浴用液剤、特に保温・血行促進剤成分が生薬抽出エキスであり、グリチルレチン酸及び／又はその誘導体に対して10～50重量倍配合され、これを含む全有効成分濃度が2～10w/w%である上記浴用液剤に係わる。

## 【0008】

グリチルレチン酸及び／又はその誘導体	1
ヤーオリザノール	3～20
米糠エキス	0.05～10
米糠油	2～20

本発明の浴用液剤は、上記特定成分の所定量を組合せ配合したことに基づいて、優れた皮膚疾患改善乃至治療効果を奏し得、しかも異臭もなく、湯の中に入れた時に容易に均一に分散し、安定性に優れ、また配合成分が浴槽にこびりつく心配もなく、非常に容易且つ簡便に適用できる利点がある。更に、本発明浴用液剤は、温熱効果、血行促進効果等をも奏し得るものである。特に、保温・血行促進剤成分としてカミツレエキスを利用した本発明浴用液剤は、上記皮膚疾患改善乃至治療効果、温熱効果、血行促進効果等において顕著に優れている。

【0009】以下、本発明浴用液剤を構成する各成分につき詳述すれば、まずヤーオリザノールとしては、従来より高脂質血症治療剤の有効成分として用いられている他、皮膚の保護作用を目的として外用剤や化粧品等に配合され得ることも知られているものを、本発明に利用できる。

【0010】米糠エキスとは、米糠の水又は水-アルコール系溶媒抽出物で、多糖類を主に含んでいる。その代表例としては、例えば「コメヌカエキスS」(小城製薬社)等の市販品を例示でき、本発明では上記市販品をそのまま用いてもよく、また米糠を常法に従って水抽出するかしくは水-アルコール系溶媒で抽出して得られる抽出液(一般には上記エキスを1～5w%含有する)を利用してもよい。尚、該米糠エキス中には上記ヤーオリザノールが含まれることも知られているが、その量は微量であり本発明浴用液剤の配合割合の算出の際には無視できる。

【0011】米糠油とは、米糠に含まれる脂肪油であり、通常-5～-10°Cの融点を示し、食用等によく用いられている。本発明ではかかる通常市販の米糠油のいずれをも利用できる。

【0012】グリチルレチン酸及びその誘導体としては、従来より消炎剤成分として用いられる各種のものを本発明に利用できる。該グリチルレチン酸の誘導体の具体例としては、例えばグリチルレチン酸グリセリン、グリチルレチン酸ステアリル、β-グリチルレチン酸、グリチルリチン酸(グリチルレチン酸の配糖体)、グリチルリチン酸三ナトリウム、グリチルリチン酸ジカリウム、グリチルリチン酸メチル、グリチルリチン酸モノア

ンモニウム等を例示できる。

【0013】本発明における保温・血行促進剤成分としては、生薬抽出エキスを用いることが好ましく、該生薬抽出エキスには、具体的にはカミツレエキス、センキュウエキス、トウキエキス、ケイヒエキス、ハマボウフウエキス、ハッカエキス、ゴシュウエキス、トウヒエキス、ユズエキス、クスノキエキス、ケイガイエキス、ショウブエキス等が含まれ、之等の内ではカミツレエキスが好ましい。

【0014】本発明浴用液剤は、上記各成分をグリチルレチン酸及び／又はその誘導体を基準とする相対重量比で、マーオリザール3～20倍、好ましくは3～10倍、米糠エキス0.05～1.0倍、好ましくは0.1～6倍、米糠油2～20倍、好ましくは3～10倍及び生薬抽出エキス10～50倍、好ましくは1.5～40倍の配合割合で配合させることが重要である。

【0015】本発明浴用液剤は、上記各成分の所定量を配合することにより調製され、その調製方法は、特に限定されず、通常のこの種浴用剤と同様の各種一般的方法に従うことができる。例えば本発明浴用液剤は、各有効成分の所定量及び基剤に乳化剤を加えて混合乳化し、適当な容器に充填することにより製品とされる。

【0016】上記基剤としては、水の他に例えば流動パラフィン、スクワラン、ラノリン、ホホバ油、ローズヒップ油、ミンク油、ヒマシ油、アーモンド油、ヒマワリ油、アボカド油、サフラワー油、オリーブ油等の油脂類、リノール酸、イソステアリン酸、オレイン酸、ラノリン脂肪酸等の高級脂肪酸、オレイルアルコール、ステアリルアルコール、オクチルドデカノール、ホホバアルコール等の高級アルコール類、トリ（カプリル・カプリン酸）グリセリン、トリオクタン酸グリセリン、ミリスチン酸イソプロピル等の脂肪酸エステル、グリセリン、1,3-ブチレングリコール、プロピレングリコール等の多価アルコール類等を用い得る。また、乳化剤としては各種の陰イオン性界面活性剤、両性界面活性剤、非イオン性界面活性剤を使用でき、該陰イオン性界面活性剤には例えばラウリル硫酸ナトリウム、セチル硫酸ナトリウム、ラウリル硫酸トリエタノールアミン等の高級アルコール硫酸エステル、ポリオキシエチレンアルキルフェニルリン酸塩、ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテルリン酸トリエタノールアミン、ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテルリン酸ナトリウム等のリン酸エステルや、ステアロイル-レーグルタミン酸二ナトリウム等のアミノ酸系界面活性剤等が、両性界面活性剤には例えば2-アルキル-N-カルボキシメチル-N-ヒドロキシエチルイミダゾリニウムベタイン等のイミダゾリン型や大豆リン脂質、水素添加大豆リン脂質、卵黄レシチン、水素添加卵黄レシチン、大豆リゾレシチン等のレシチン類が、また非イオン性界面活性剤には例えばグリセリン脂肪酸エステル、ポリグリセリン脂肪酸エス

テル、ポリグリセリン縮合リシノレイン酸エステル等のグリセリン脂肪酸エステル、プロピレングリコール脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル、ショ糖脂肪酸エステル等の多価アルコールエステル型のものや、酸化エチレン縮合型のものとしてポリオキシエチレンオレイルエーテル、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル、ポリエチレングリコールモノオレイン酸、ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンデシルテトラデシルエーテル等のブロックポリマーやポリオキシエチレンヒマシ油、ポリオキシエチレンラノリン等がそれぞれ含まれる。

【0017】本発明浴用液剤は、上記必須成分の他に、更に必要に応じてこの種浴用剤に使用できることの知られている他の薬効成分や各種の添加剤を添加配合することもできる。上記薬効成分としては、例えばグアイアズレン、グアイアズレンスルホン酸エチル、イブシロンアミノカプロン酸（止血）、トラネキサム酸（止血）、サリチル酸メチル、アロエエキス、カンゾウエキス等の消炎剤成分やメントール等の清涼剤成分を例示できる。他の添加剤としては、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸プロピル等の保存剤、EDTA等の水質改善剤、香料着色料、発泡剤等を例示できる。

【0018】かくして得られる本発明の浴用液剤は、通常のこの種浴用剤と同様にしてこれを浴槽に適用できる。その適用量は、一般には本発明製剤の総量が、湯2001当り約7～20g程度の範囲となる量を目安として、これを適用する患者の症状、疾患の程度等に応じて適宜増減できる。尚、本発明浴用液剤は、殊に皮膚疾患に対して改善効果を奏するものであり、通常の皮膚外用剤と併用することも勿論可能で、この併用によれば、該皮膚外用剤の効果をより一層向上させ得る。

【0019】

【発明の効果】本発明の浴用液剤は、殊にアトピー性皮膚炎や老人性乾皮症等の皮膚疾患に対して、著しい改善効果を奏し、更に、汗疹、しもやけ、ひび、あかぎれ、肌荒れ等に対してもそれらの治療、改善効果を奏し得る。

【0020】また該浴用液剤は、液剤形態に容易に調製でき安定性に優れ、その適用時に湯に投入するだけで容易に均一に分散し、頻繁に使用しても浴槽の汚染等を生ずることなく、その洗浄除去も容易である。更に異臭の発生もなく、快適に使用でき、入浴後に患者の身体に異臭がしみ付くおそれもない。

【0021】

【実施例】以下、本発明を更に詳しく説明するため、本発明浴用液剤の製造例を実施例として挙げ、次いでその適用による効果を明らかとする試験例を挙げる。

【0022】

【実施例1】

50 成分A：

5

アーリザノール	1.0 kg
米糠油	0.3 kg
ミリスチン酸イソプロピル	4.0 kg
乳化剤(ビログルタミン酸イソステアリン酸ポリオキシエチレン(25)グリセリル)	10.0 kg
成分B:	
グリチルリチン酸ジカリウム	0.1 kg
米糠エキス抽出液(エキス分2wt%含有)	30 kg
カミツレエキス	3 kg
1,3-ブチレングリコール	30.6 kg
精製水	21 kg
成分Aを70~80°Cに加熱し、攪拌混合して溶解し、40°C位まで冷却した後、成分Bを混合溶解したものを少しづつ加え、攪拌溶解して透明状の本発明浴用液剤を得た。	

【0023】尚、上記で用いた米糠エキス抽出液は、次のようにして調製した。即ち、米糠200gに1,3-ブチレングリコール700g及び精製水700gを加え、時々攪拌しながら1週間室温下で放置した後、固形分を沪別して1000gの抽出液を得た。この抽出液は、エキス分(蒸発乾固させて得られる固形残渣)を2重量%含む。

【0024】

【実施例2】

成分A:

アーリザノール	0.5 kg
米糠油	0.5 kg
乳化剤(水素添加大豆リン脂質(25%グリセリン溶液))	4 kg

成分B:

グリチルリチン酸ジカリウム	0.1 kg
米糠エキス	

(「コメヌカエキスS」小城製薬社製) 0.1 kg

カミツレエキス 4 kg

1,3-ブチレングリコール 30 kg

精製水 60.8 kg

成分Aを70~80°Cに加熱し、攪拌混合して溶解し、これに、成分Bを混合溶解したものを少しづつ加え、攪拌乳化して室温まで放冷し、乳濁状の本発明浴用液剤を得た。

【0025】

【実施例3】

成分A:

アーリザノール	0.5 kg
米糠油	0.5 kg

乳化剤

ラウロイルグルタミン酸ポリオキシエチレン(5)

オクチルドデシルエーテルジエステル 3 kg

モノオレイン酸ポリオキシエチレングリコール

(10) 18 kg

6

トリオクタン酸グリセリン	5 kg
流動パラフィン	67.9 kg

成分B:

グリチルリチン酸ジカリウム	0.1 kg
---------------	--------

米糠エキス

(「コメヌカエキスS」小城製薬社製) 0.01 kg

カミツレエキス 2 kg

乳化剤(ステアロイル-L-グルタミン酸二ナトリウム)

0.5 kg

10 成分Aを70~80°Cに加熱し、攪拌混合して溶解し、40°C位まで冷却した後、成分Bを混合溶解したものを少しづつ加え、攪拌溶解して透明状の本発明浴用液剤を得た。

【0026】

【試験例1】小児アトピー性皮膚炎患者27名につき、実施例3で得られた本発明浴用液剤20mlを家庭用浴槽(150~200l)に混合して、1日1回毎日入浴を行なわせた。尚、入浴用石鹼の使用は通常通りとし、入浴後のすすぎは行なわないこととした。

20 【0027】4~8週間経過後、各患者につき、以下の評価を行なった。

【0028】(1) 有効性: 経時的な全般改善程度等を総合的に判断して、供試浴用剤の有効性を下記6段階にて評価した。

【0029】6…極めて有効、5…有効、4…やや有効、3…不变、2…悪化、1…判定不能。

【0030】(2) 副作用: 副作用の有無を調べ、副作用の認められた場合はその程度を、下記3段階で評価した。

30 【0031】3…高度、2…中等度、1…軽度。

【0032】(3) 有用性: 全般有効性と副作用とを総合的に判断して、供試浴用剤の有用性を下記6段階にて評価した。

【0033】6…極めて有用、5…有用、4…やや有用、3…無用、2…有害、1…判定不能。

【0034】(4) 患者評価: 患者自身により、供試浴用剤の効果及び使用感を総合的に判断させ、下記6段階評価を行なった。

40 【0035】6…非常によい、5…よい、4…ややよい、3…判らない、2…悪い、1…不明。

【0036】得られた結果を下記表1に示す。

【0037】

【表1】

評価項目	評価患者(%)
(1) 有効性	
評点 6	3. 7
“ 5	55. 6
“ 4	22. 2
“ 3	11. 1
“ 2	0
“ 1	7. 4
(2) 副作用	
評点 3	0
“ 2	0
“ 1	3. 7
(3) 有用性	
評点 6	3. 7
“ 5	55. 6
“ 4	22. 2
“ 3	7. 4
“ 2	0
“ 1	11. 1
(4) 患者評価	
評点 6	29. 8
“ 5	33. 3
“ 4	14. 8
“ 3	11. 1
“ 2	3. 7
“ 1	7. 4

【0038】上記表1より次の事が判る。即ち、本発明浴用剤の有効性については、有効以上の評価(5~6)が59. 3%得られ、やや有効(4)を含めると81. 5%の評価が得られた。副作用については、試験期間を通じて本浴用剤に起因すると考えられる重篤な副作用は認められなかった(いずれも軽度(1)であった)。有用性については、有用以上の評価(5~6)が59. 3%であり、やや有用(4)を含めると81. 5%であった。患者評価では、非常によい(5)及びよい(4)と10 答えた患者が62. 9%であり、ややよい(3)を含めると77. 7%におよび、これは上記有用性の評価と相関しており、好評であった。

【0039】以上の結果より、本発明浴用剤は特にアトピー性皮膚炎の改善効果に優れたものであり、使用感も快適であることが明らかである。